

「今後の三浜小学校について」アンケート

分析結果から見える子どもの姿

平成22年度末に実施したアンケートの集計結果から見える子どもや学校の姿をまとめました。

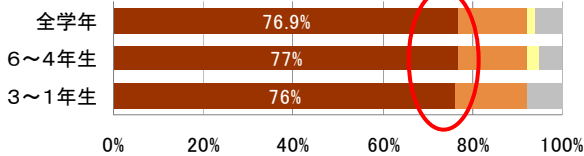
◆アンケート調査時期：平成23年3月
 ◆アンケート回答数：65世帯／73世帯
 (回答率89.0%)



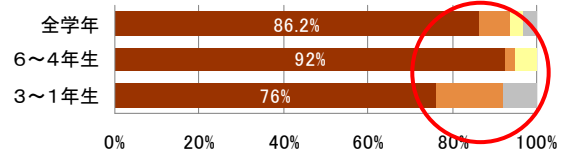
◆親密な人間関係と少人数授業のよさ

人間関係が親密であり、互いに深いかわりを持っていることがわかります。また、少人数の良さを生かし、授業中は先生の目が行き届いているようです。(少人数授業は市内全小学校で実施されています)

問1 先生と児童、または児童同士の間が親密である



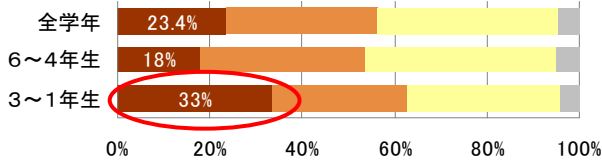
問3 先生の目が届きやすく、きめ細かな指導ができています



■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そうは思わない ■ わからない

◆少人数のデメリット① 集団活動の限界

問4 体育や音楽などで活動内容が限られている



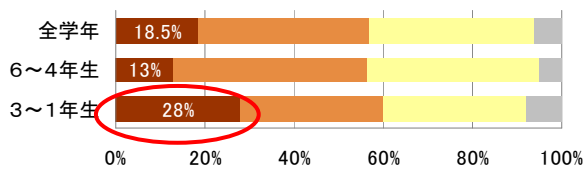
■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そうは思わない ■ わからない

少人数ゆえのデメリットもあります。体育や音楽、外国語活動などにおいては、実施できる活動内容に限られます。それを補うために他学年と合同で活動することが考えられますが、その場合どうしても下の学年の技術や能力にあわせた内容となります。その結果、通常、その学年で行われている活動や、さらに高度な活動にチャレンジできなくなる場合があります。

(例) 運動会の組体操、合唱、ゲーム形式の英語学習

◆少人数のデメリット② 切磋琢磨しにくい環境

問5 児童同士の競い合い(切磋琢磨)などの機会が少ない



■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そうは思わない ■ わからない

学校で行う学習には、二つの側面があります。

ひとつは漢字・計算など基礎的な力を身につける学習。もうひとつは友達とかかわり刺激を受けながら、自分を高める学習です。友達の多様な考えにふれ、切磋琢磨することによって、よい作品を作ろうとしたり、自分の考えが深まったりします。切磋琢磨する機会が少ないことは、少人数の大きなデメリットと言えます。

一般に、少人数のメリットとして「きめ細やかな指導」があげられます。少人数では子どもと先生との1対1の関係が濃密となるため、子どもは先生に依存してしまいがちです。このような切磋琢磨しにくい環境、つまり集団の学び合いによって生まれる「豊かな学力」や「向上心」が育ちにくい環境は、少人数の大きなデメリットと言えます。少人数授業では、基礎力は身につけやすいものの、切磋琢磨する機会が圧倒的に少ないため、知識を活用する力や創意工夫する意欲が育ちにくくなるのです。

